

語いと英語教育(27)

語い指導(3)

2004年2月24日

目 次

あいさつ	-----	3
研究部の歩み	-----	4
昨年度までの研究のあらまし	-----	9
今年度の研究	-----	10
語い指導(3)		
1 今年度の研究の流れ	-----	10
2 キー項目の説明と利用法	-----	12
3 望月テストの結果と考察	-----	16
4 語い指導アンケートの結果と考察	-----	20
5 夏休み語い指導 Workshop のまとめと参加者の声	-----	27
6 研究部のホームページについて	-----	28
今後の課題	-----	29
参考文献	-----	30
編集後記	-----	31

語彙指導の意義について

東京都中学校英語教育研究会
会 長 太 郎 良 博

今年度もまた、東京都中学校英語教育研究会研究部の研究成果を載せた冊子「語いと英語教育」が発刊されることとなりました。創刊以来、第 27 号を数えることとなります。その間、研究部では各部員がお互いによく協力しあいながら、「語彙」に関わることを中心に地道な研究を重ねてきました。今回のこの冊子も、そのような長い積み重ねの成果であり、このことを私たち都中英研の会員一同大変に喜ばしくかつ誇りに思うものであります。

ところで、言葉の指導をなすにあたり「語彙」を扱うことは当然のことです。言葉が音声として使われようと、あるいは文字として使われようと、「語彙」という問題から逃れることは出来ません。にもかかわらず、「語彙」をどのように扱うべきであるかということについては、これまで案外簡単に扱われてきた面があるのではないのでしょうか。例えば・・・

- ・ 現在の中学生には、何語くらいの語彙を習得させるべきなのか。
- ・ そのうち、表現段階まで習得させるべき語彙はどれほどなのか。
- ・ 理解の段階までを考えると、習得させるべき語彙はどのようなものがあるのか。
- ・ それらの語彙をどのように初期段階で導入するのが効果的なのか。
- ・ それらの語彙を効果的に習得させるための具体的な手立てはないのか。
- ・ 少しでも学習者の興味関心を引き起こし、英語の習得への動機付けとなるような語彙指導の工夫は考えられないのか。
- ・ 毎時の授業のなかで、どのような手立てで系統的に語彙指導を行うべきなのか。
- ・ 現行の教科書に出てくる語彙以外に、是非とも習得させておきたいと思われる語彙はないのか。
- ・ 現行の「学習指導要領」に規定されている語彙の範囲は、果たして適切なのか。それとも十分でないのか。適切であるとするならばその根拠は何か。また、十分でないとするならばその根拠は何か。

ざっと考えてみただけでも、以上のような課題が考えられるわけであります。

このように考えたとき、英語学習の成果をより効果的なものとするためには、やはり語彙に関わることの研究が是非とも必要でありかつ重要なものであることが理解されると思います。

語彙の研究は大変に地道なものであります。目立たないものであります。しかしとても重要な課題であることは言うを俟ちません。このような趣旨から、都中英研の会員の皆様におかれましては、今回のこの研究冊子の成果を生かし、今後とも語彙指導についてなお一層関心を持って頂くことを願ってやみません。そして、様々な授業実践を通して得た成果を出来る限り広範囲な関係者で共有できるようにして頂くことが大変に重要なことかと考えます。

最後になりましたが、本研究に携わって参りました研究部員の努力はもとより、各関係各位の様々な形でのご指導ご支援に対し、心から感謝申し上げます。

研究部の歩み

東京都中学校英語教育研究会・研究部では、1976年（昭和51年）より下記のような研究を継続的に行ってきた。今年度の研究もこの延長線上にあるものである。

- 1976（昭和51）年度 「英語教師のニードとその資料源」
研究授業者：森永 誠（北区立赤羽台中学校）
指導講師：福田 大昭（都立教育研究所）
- 1977（昭和52）年度 「英語教師のニードとその資料源 その2」
「外来語と英語教育（1）」
- 小学校高学年教科書に現れた外来語リスト -
研究授業者：里見 光昭・宗政 剛郷（千代田区立麹町中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1978（昭和53）年度 「外来語と英語教育（2）」
- 中学校英語教科書に現れた外来語リスト -
研究授業者：野中 清（江東区立深川第二中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1979（昭和54）年度 「外来語と英語教育（3）」
- 外来語の強勢付加によっておこる変化 -
研究授業者：萩野 浩・須田 昌義（千代田区立一橋中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1980（昭和55）年度 「外来語と英語教育（4）」
- 英語の意味別頻度と外来語・英語の意味とのかさなり -
研究授業者：後関 正明（墨田区立両国中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1981（昭和56）年度 「外来語と英語教育（5）」
- フォニックス（つづり字と発音のルール） -
研究授業者：小林 幸子（千代田区立鍊成中学校）
指導講師：若林 俊輔（東京学芸大学）
- 1982（昭和57）年度 「外来語と英語教育（6）」
- 選定語いについて -
研究授業者：小西 照明（足立区立伊興中学校）
指導講師：堀口 俊一（東京学芸大学）

- 1983 (昭和58) 年度 「語いと英語教育 (7)」
 - 選定語い (2) ・ 発表語い (1) ・ 外来語と英語教育 (7) -
 研究授業者：長 勝彦 (江東区立第三亀戸中学校)
 指 導 講 師：若林 俊輔 (東京外国語大学)
- 1984 (昭和59) 年度 「語いと英語教育 (8)」
 - 発表語い (2) 外来語と英語教育 (8) -
 研究授業者：鳶原 秀子 (新宿区立西戸山中学校)
 指 導 講 師：森住 衛 (大妻女子大学)
- 1985 (昭和60) 年度 「語いと英語教育 (9)」
 - 「英語基本語い 1000 語」と「補足 460 語・外来語 (英語) 400 語」
 Interim Report
 「外来語と英語教育 (9)」
 言葉遊びをとり入れての指導実践例 -
 研究授業者：長 勝彦 (墨田区立両国中学校)
 指 導 講 師：若林 俊輔 (東京外国語大学)
- 1986 (昭和61) 年度 「語いと英語教育 (10)」
 A. 英語・基本語い 1000 語・Appendices
 B. 授業の中でどのように語いをふやすか
 C. C L T (Communicative Language Teaching) について
 研究授業者：日臺 滋之・Ms. Yvonne Broekman (Australia)
 (新宿区立牛込第三中学校)
 指 導 講 師：隈部 直光 (大妻女子大学)
- 1987 (昭和62) 年度 「語いと英語教育 (11)」
 A. 基本語いの定着化 - 授業の中でどのように語いをふやすか (Part 2) -
 (Bingo Game , Guess Work , Pair Work & Skit を行って)
 B. CLT(Communicative Language Teaching) と CF(Communicative Functions) について
 - 東京都公立中学校で使用されている 4 種類の教科書に現れる
 Functions (言語機能) / Forms(言語形式) の学年別 Function List -
 C. Assistant English Teacher に関するアンケート調査のまとめ
 - AET 導入の年数・採用方法・派遣状況・派遣時数・その他 -
 研究授業者：青木 弘子・Mr. Phillip Roberts (Australia)
 (新宿区立牛込第三中学校)
 指 導 講 師：塩澤 利雄 (宇都宮大学)

1988 (昭和63) 年度 「語いと英語教育 (12)」

A. NHK ラジオ続基礎英語 (1986.4 ~ 1987.3) の dialogs に現れる
伝達機能とその言語形式

B. 日常の授業で活用できる伝達機能とその言語形式

研究授業者: 福井 康真・Ms. Robarta Schudrick(U.S.A.)(千代田区立九段中学校)

指導講師: 萩野 浩 (聖徳短期大学)

1989 (平成元) 年度 「語いと英語教育 (13)」

CLT(Communicative Language Teaching)と CF(Communicative Functions)について
東京都公立中学校で使用されている4種類の教科書に現れる

Functions (言語機能) / 例文の List

研究授業者: 鶴田 峰子・太郎良 博 (大田区立南六郷中学校)

指導講師: 斎藤 誠毅 (神奈川大学)

1990 (平成2) 年度 「語いと英語教育 (14)」

A. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続)

- 実情報にかかわる機能 -

B. 東京都公立中学校における英語教育実態調査報告

研究授業者: 山本 展子・Mr. Frank Berberich (U.K.)

(江東区立深川第七中学校)

指導講師: 島岡 丘 (筑波大学)

1991 (平成3) 年度 「語いと英語教育 (15)」

日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式 (続々)

- 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register について -

研究授業者: 二宮 正男 (狛江市立狛江第一中学校)

指導講師: 青木 昭六 (愛知学院大学)

1992 (平成4) 年度 「語いと英語教育 (16)」

A. Teacher Talk (1)

B. 日常の授業で活用できる言語機能とその言語形式

- 意志・感情にかかわる機能の言語形式の Register に対する Native
Speaker の Comments -

研究授業者: 北原 延晃 (杉並区立和田中学校)

指導講師: 上田 明子 (津田塾女子大学)

1993 (平成5) 年度 第17回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会東京大会

Teacher Talk (1)

研究授業者: 杉本 薫 (墨田区立両国中学校)

指導講師: 若林 俊輔 (東京外国語大学)

1993 (平成5)年度 「語いと英語教育(17)」

Teacher Talk (2)

研究授業者：重松 靖(府中市立第七中学校)

指導講師：金谷 憲(東京学芸大学)

1994 (平成6)年度 「語いと英語教育(18)」

Teacher Talk (3)

研究授業者：三浦 邦彦(足立区立第三中学校)

指導講師：森永 誠(聖徳大学短期大学部)

1995 (平成7)年度 「語いと英語教育(19)」

Teacher Talk (4)

研究授業者：石井 亨(江東区立南砂中学校)・Mr. John Walding(U.K.)

指導講師：佐野 正之(横浜国立大学)

1996 (平成8)年度 「語いと英語教育(20)」

研究部の歩みと

「語いと英語教育」第1集～19集のダイジェスト版

研究授業者：長 勝彦(墨田区立両国中学校)

1997 (平成9)年度 「語いと英語教育(21)」

Teacher Talk (5)

Student Talk (1)

研究授業者：太田 洋(東京学芸大学附属世田谷中学校)

指導講師：投野 由紀夫(東京学芸大学)

1998 (平成10)年度 「語いと英語教育(22)」

Student Talk (2)

研究授業者：原田 博子(江東区立深川第五中学校)

指導講師：和田 稔(明海大学)

1999 (平成11)年度 「語いと英語教育(23)」

Student Talk (3)

研究授業者：小柳 守生(葛飾区立亀有中学校)

指導講師：松本 青也(愛知淑徳大学)

2000（平成12）年度 「語いと英語教育（24）」

Student Talk (4)

研究授業者：阿久津 仁史（文京区立第八中学校）

指導講師：緑川 日出子（昭和女子大学）

2001（平成13）年度 「語いと英語教育（25）」

語い指導(1)

研究授業者：門松 裕之・佐藤 恵美（墨田区立文花中学校）

指導講師：山内 豊（東京国際大学）

2002（平成14）年度 「語いと英語教育（26）」

語い指導(2)

研究授業者：伊地知義信（豊島区立西巣鴨中学校）

指導講師：望月 正道（麗澤大学）

2003（平成15）年度 「語いと英語教育（27）」

語い指導(3)

研究授業者：明石 達彦（港区立御成門中学校）

指導講師：木村 松雄（青山学院大学）

昨年度までの研究のあらまし

研究部では、平成 13 年度から 3 年連続して「語い指導」のあり方について研究を行ってきた。平成 13 年度に中学校指導用教科書 7 社で使用されている語いリストを作成し、平成 14 年度、15 年度は継続研究としてリストの修正、新項目の検討を行い、同時にそれらをどのように授業に生かし効果的な授業を行うかについて研究してきた。また、語いリストを英語教師が共有することにより、より多くの生徒の学習に生かされることを願い、リストの更新を行いながらインターネット上で最新のリストを公開してきた。

生徒が使う新しい教科書ではどのような語が入っているのだろうか。新学習指導要領では必修語いが機能語だけの 100 語となり、教科書に使われる内容語がそれぞれの教科書会社によるものとなった。7 社全部に共通する語にはどのようなものがあるのだろうか。多くの教科書で共通して使われている語いは何だろうか。生徒が言語活動で使いたい語いがどの程度含まれているのだろうか。日本の中学生が学習する語いを知るところから始めようと考え、平成 14 年度の新教科書に現れる語いについてまとめてみることにした。また東京都では 7 社全社の教科書が採択されたことも研究を進める一因となった。

そこで、表計算ソフトに新しい教科書の語いを入力し、それらの語いを品詞や Category 別などに分け、そのデータを研究部のホーム・ページに載せ、多くの方々が利用できるようにした。また部員同士で、語い指導について研修し、実践を報告した。さらに語いサイズテストについて、作成者である麗沢大学の望月正道先生を招いて学習会を行った。そして語いリストから読みとれる 7 社の中学校英語教科書の語いの特徴について、中学生コーパスとの関連、7 社に共通の語い、カテゴリー別考察についてまとめた。

今年度の研究

語い指導(3)

1 今年度の研究の流れ

7社の検定教科書に出現する語いリストに基づく研究も3年目を迎えた。今年度は主にデータの修復・充実と語い指導に関する基礎調査を行った。同時並行で先行研究図書の内容の輪読を行った。また本研究部の研究成果を多くの先生方に具体的に知って授業に活用していただくために、夏休みには3回のワークショップを企画・実施した。研究活動の流れを月ごとに見ていくことにする。

4月22日 中央区立佃中にて

- ・研究組織作り
- ・研究内容の検討
- ・研究部員の指導学年、使用教科書、指導の形態などの調査
- ・全英連東京大会分科会関係者決定

5月20日 佃中にて

- ・先行研究図書輪読開始 Teaching and Learning VOCABULARY I. S. P. Nation 1990
(石井教諭担当)
- ・データの修正(パソコン使用)
京都の高田先生ならびに町田の本多先生からの指摘による修正など
- ・夏休み語い指導ワークショップ提案

6月12日 江東区立第二南砂中にて

- ・夏休み語い指導ワークショップ詳細決定
- ・望月テスト(語いサイズテスト)実施上の打合せ
6月末日までに各校で実施 結果を集約
- ・研究部推奨語いリスト(仮称)提案
- ・全英連分科会発表者の内容検討

7月17日 中央区立日本橋中にて

- ・夏休み語い指導ワークショップ準備
- ・語いデータ修復最終回

7月24日 大田区立御園中にて

夏休み語い指導ワークショップ第1日 参加者35名
午前: エクセルを使った語いリストのソート練習(鬼山・北原・矢木)
午後: 語い指導実践ワークショップ(山本・北原)

8月25日 江東区立第二南砂中にて

夏休み語い指導ワークショップ第2日 参加者34名
午前: 語い指導実践ワークショップ(関口・原田・溪内)
午後: エクセルを使った語いリストのソート練習(石井・稲葉・鬼山・北原
・矢木)

8月26日 大田区立東調布中学校にて

夏休み語い指導ワークショップ第3日 参加者19名

午前：語い指導文献研究（鶴田・原田・大貫）

・先行研究図書輪読（鶴田教諭担当）

・先行研究図書輪読（原田教諭担当）

・先行研究図書輪読（大貫教諭担当）

午後：語い指導実践ワークショップ（山本・溪内・岡崎）

9月22日 日本橋中にて

・先行研究図書輪読（坂田教諭担当）

・望月テストの分析方法について

・公開授業者決定、指導講師依頼

・夏休み語い指導ワークショップ総括と反省

10月14日 日本橋中にて

・先行研究図書輪読（矢木教諭担当）

・望月テスト結果分析

・研究部語いリストにアメリカの first dictionaries の語いを入力

11月14日 第二南砂中にて

・研究部語いリストにアメリカの first dictionaries の語いを入力

・来年度リストに加える語い集を選定

・語い指導アンケートについて

・全英連分科会関係

12月12日 第二南砂中にて

・語い指導アンケート中間集約結果について

・望月テスト第2回実施について

・研究冊子原稿分担

・研究部発表大会仕事分担

1月 7日 第二南砂中にて

・研究部発表大会仕事分担最終確認

・研究部語いリストにアメリカの first dictionaries 等の語いを入力（最終）

・語い指導アンケート結果の分析

・研究冊子原稿完成

2 キー項目の説明と利用法

(下の表は標準的な使用のマイクロソフト・エクセルで「教科書語いデータ」を開いたものです。ソフトウェアの設定によって、画面の表示は異なる場合があります。)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
整理 番号	語い	教科書	学 年	課	§	出現順	品詞	category	機能語	教科書 数	Phonics 1	Phonics 2	中学生 コーパス
1010	bag	NC	1	0	0	1	名詞	その他	内容語	6			30
1011	bike	NC	1	0	0	15	名詞	乗物	内容語	4	magic e		7
1012	bird	NC	1	0	0	23	名詞	生物	内容語	7		ir	71
1013	book	NC	1	0	0	9	名詞	学校	内容語	7		oo短	143
1014	box	NC	1	0	0	2	名詞	その他	内容語	6			39
1015	cake	NC	1	0	0	10	名詞	飲食	内容語	6	magic e		17
1016	car	NC	1	0	0	16	名詞	乗物	内容語	5			
1017	cat	NC	1	0	0	3	名詞	生物	内容語	5			115
1018	chair	NC	1	0	0	11	名詞	学校	内容語	6			10
1019	cup	NC	1	0	0	4	名詞	飲食	内容語	4			9
1020	desk	NC	1	0	0	5	名詞	学校	内容語	5			17
1021	dish	NC	1	0	0	6	名詞	飲食	内容語	4			9
1022	dog	NC	1	0	0	17	名詞	生物	内容語	5			319
1023	food	NC	1	0	0	18	名詞	飲食	内容語	7		oo長	52
1024	guitar	NC	1	0	0	19	名詞	その他	内容語	5			37
1025	house	NC	1	0	0	20	名詞	家	内容語	7		ou	112
1026	key	NC	1	0	0	7	名詞	家	内容語	3			23
1027	my	NC	1	0	0	29	代名詞		機能語	7			1979
1028	name	NC	1	0	0	27	名詞	その他	内容語	7	magic e		742
1029	no	NC	1	0	0	30	副詞	その他	内容語	7			299
1030	notebook	NC	1	0	0	12	名詞	学校	内容語	5		oo短	18
1031	pen	NC	1	0	0	8	名詞	学校	内容語	4			109
1032	plane	NC	1	0	0	24	名詞	乗物	内容語	5	magic e		3
1033	table	NC	1	0	0	13	名詞	家	内容語	5	magic e		29
1034	tree	NC	1	0	0	25	名詞	生物	内容語	7		ee	36
1035	tube	NC	1	0	0	14	名詞	学校	内容語	2	magic e		0
1036	wall	NC	1	0	0	21	名詞	家	内容語	3			40
1037	window	NC	1	0	0	22	名詞	家	内容語	6		ow例外	2
1038	yes	NC	1	0	0	28	副詞	その他	内容語	7			431
1039	your	NC	1	0	0	26	代名詞		機能語	7			466
1040	* Brown	NC	1	1	1	39	名詞	人	内容語	5		ow	0
1041	* Meiling	NC	1	1	1	41	名詞	人	内容語	1			0
1042	* Tom	NC	1	1	1	38	名詞	人	内容語	4			668

A～N列は平成14年度研究紀要「語いと英語教育(25)」で発表したもの。O～U列は「教科書語いデータ version 3.1」(平成15年12月更新)で追加された項目である。

A	B	O	P	Q	R	S	T	U
整理 番号	語い	Macmillan	Kingfisher	AmericanH	McGraw-H	Scholastic	アルク	英和じてん
1010	bag	1	1	1	1	1	1	1
1011	bike	0	1	0	0	0	1	0
1012	bird	1	1	1	1	1	1	1
1013	book	1	1	1	1	1	1	1
1014	box	1	1	1	1	1	1	1
1015	cake	1	1	1	0	1	1	1
1016	car	1	1	1	0	1	1	1
1017	cat	1	1	1	1	1	1	1
1018	chair	1	1	1	0	1	1	1
1019	cup	1	1	1	0	1	1	1
1020	desk	1	1	1	0	1	1	1
1021	dish	1	1	1	1	1	1	1
1022	dog	1	1	1	1	1	1	1
1023	food	1	1	1	1	1	1	1
1024	guitar	1	1	0	0	1	1	1
1025	house	1	1	1	1	1	1	1
1026	key	1	1	1	0	1	1	1
1027	my	1	0	1	1	0	1	1
1028	name	1	1	1	1	1	1	1
1029	no	1	0	1	1	1	1	1
1030	notebook	0	0	0	1	1	0	1
1031	pen	1	1	1	1	1	1	1
1032	plane	1	1	1	1	1	0	1
1033	table	1	1	1	1	1	1	1
1034	tree	1	1	1	1	1	1	1
1035	tube	1	1	1	1	1	1	0
1036	wall	1	1	1	1	1	1	1
1037	window	1	1	1	0	1	1	1
1038	yes	1	0	1	0	1	1	1
1039	your	1	0	1	0	0	1	1
1040	* Brown							
1041	* Meiling			1	0	1	1	
1042	* Tom			1	0	0	0	

O 列(Macmillan)から U 列(英和じてん)まで ver.3.1 更新時に追加した項目

今回の作業では入力中に何らかの理由で消えてしまった語を再入力し、その他の誤りを訂正しました。A 列から N 列までは今までと同じ項目です。(ただし、A 列の整理番号は、その後の作業の中であらためて設定されているので以前のものとは異なっています。)

O ~ U 列にアメリカの小学生が初めて使用する first dictionaries と日本で市販されている児童用辞書を合計 7 冊加えました。「0」はその語が該当の辞書に掲載されていないことを示し、「1」は掲載されていることを示しています。これらを参照することにより、日本の英語教科書ではあまり使われていないがアメリカの小学生の誰もが知っている、あるいは学習する語であることがわかります。例えば K 列で頻度 7 もしくは 6 しかも O ~ U 列のどれもが「1」の語は重要語中の最重要語となります。

O 列 Macmillan

図書名	著者	出版年	出版社
Macmillan First Dictionary	Judith S. Levey	1990	Macmillan
対象年齢	収録語数	値段	
for every preschool and primary-grade child	2100	\$ 16	

P 列 Kingfisher

図書名	著者	出版年	出版社
Kingfisher First Dictionary	editors	1995	Kingfisher
対象年齢	収録語数	値段	
for children who are learning to read	1500	\$ 12.95	

Q 列 American Heritage

図書名	著者	出版年	出版社
The American Heritage First Dictionary	editors	2003	Houghton Mifflin
対象年齢	収録語数	値段	
children in grades 1-2(ages 6-8)	more than 1800	\$ 16.95	
その他			
award-winning reference for children			

R 列 McGraw-Hill

図書名	著者	出版年	出版社
The McGraw-Hill Children's Thesaurus	McGraw-Hill	2003	McGraw-Hill Children's Publishing
対象年齢	収録語数	値段	
students in elementary through middle school	2000 くらい	\$ 19.95	
その他			
to express themselves clearly and accurately			

S 列 Scholastic

図書名	著者	出版年	出版社
Scholastic First Dictionary	Judith S. Levey	1998	Scholastic Reference
対象年齢	収録語数	値段	
early elementary school children	over 1500	\$ 14.95	

T 列 アルク

図書名	監修	出版年	出版社
アルク 2000 語絵じてん	久埜百合	2000	アルク
対象年齢	収録語数	値段	
	2000	3980 円 + 税	

U 列 英和じてん

図書名	著者	出版年	出版社
英和じてん絵本	アン・ヘリング	1999	戸田デザイン研究室
対象年齢	収録語数	値段	
	1200	2400 円 + 税	

3 語いサイズテスト（望月テスト）結果と考察

	使用教科書	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3年生 vst11 語い		cookie	party	onion	grape	pot	sofa	forty	hundred	town	bridge
希望ヶ丘中3年教科書	New Crown	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
希望ヶ丘中3年副教材既習		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尾山台中3年教科書既習	New Crown	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1
尾山台中3年副教材既習		1	1	1	1	0	1	1	1	1	1
狛江一中3年教科書既習	Total	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
狛江一中3年副教材既習		0	1	1	0	0	1	1	1	1	1
東海中3年教科書既習	New Crown	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1
東海中3年副教材既習		0	1	0	0	0	1	1	1	1	1
日野中3年教科書既習	New Crown	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
日野中3年副教材既習		1	1	1	1	0	1	1	1	1	1
二南砂中3年教科書既習	Columbus	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0
二南砂中3年副教材既習		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

	使用教科書	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3年生 vst11 語い		meal	piece	man	elephant	face	towel	mystery	exam	point	sun
希望ヶ丘中3年教科書	New Crown	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
希望ヶ丘中3年副教材既習		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尾山台中3年教科書既習	New Crown	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1
尾山台中3年副教材既習		1	1	1	1	1	0	0	1	1	1
狛江一中3年教科書既習	Total	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1
狛江一中3年副教材既習		0	0	1	1	1	0	0	1	1	1
東海中3年教科書既習	New Crown	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1
東海中3年副教材既習		0	1	1	1	1	0	1	0	1	1
日野中3年教科書既習	New Crown	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1
日野中3年副教材既習		0	0	1	1	1	1	0	1	1	1
二南砂中3年教科書既習	Columbus	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
二南砂中3年副教材既習		1	0	1	1	1	0	0	1	0	0

	使用教科書	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3年生 vst11 語い		have	must	listen	continue	nice	large	great	early	hers	my
希望ヶ丘中3年教科書	New Crown	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
希望ヶ丘中3年副教材既習		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
尾山台中3年教科書既習	New Crown	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
尾山台中3年副教材既習		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
狛江一中3年教科書既習	Total	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
狛江一中3年副教材既習		1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
東海中3年教科書既習	New Crown	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
東海中3年副教材既習		1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
日野中3年教科書既習	New Crown	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
日野中3年副教材既習		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
二南砂中3年教科書既習	Columbus	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1
二南砂中3年副教材既習		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

数字の意味
1・・・授業で指導済
0・・・未習

考 察

(1) 正答率の高かった語い

既習の語い

教科書で既習またはワークシートや副教材などで既習の語い
既習の語いとして、何度も出会う語い。

Eg. my は教科書で何度も出てくるので正答率が高い。

カタカナ語として生徒に良く知られている語い

(2) 正答率の低かった語い

日本語がわかりにくいもの

No.5 丸い入れ物 (pot)

No.12 1つ、1個、1片 (piece)

No.16 てぬぐい(towel) てぬぐいという言葉自体が生徒になじみが薄いのではない
か。

Multi word (多義語)のうち、教科書などで異なる意味で学習したもの

No.22 must Columbus(光村)では初出が「～にちがいない」という意味。

No.27 great 「偉大な、りっぱな」という意味より「すばらしい、すごい」という
意味で使っている教科書の方が多い。

未習で、つづりと音の関係がわかりにくいもの

No.10 bridge No.17 mystery

[参考資料 1]

平成 12 年度 中英研研究部 「語彙サイズテスト」結果

2 年生 V S T 1 1 テスト 学年平均点

3 年生 V S T 1 1 テスト 学年平均点

学 校 名	指 導 者	学 年 平 均
豊ヶ丘中	福 井	2 2 . 4
石神井中	坂 田	2 0 . 9
本町田中	北 原	2 2 . 2
南砂中	石 井	1 9 . 7
和田中	大 貫	2 2 . 4

学 校 名	指 導 者	学 年 平 均
南砂中	石 井	2 2 . 6
深川五中	原 田	2 2 . 2
西巣鴨中	伊地知	2 5 . 3

平成 13 年度 中英研研究部 「語彙サイズテスト」結果

2 年生 V S T 1 1 テスト 学年平均点

3 年生 V S T 1 1 テスト 学年平均点

学 校 名	指 導 者	学 年 平 均
和田中	大 貫	1 8 . 2
第二南砂中	石 井	2 0 . 6
深川五中	原 田	1 9 . 0
石神井中	坂 田	2 1 . 7
御園中	山 本	2 2 . 3
西巣鴨中	伊地知	1 9 . 4
羽田中	丸 山	1 8 . 7

学 校 名	指 導 者	学 年 平 均
本町田中*	北 原	2 6 . 5
和田中*	大 貫	2 5 . 7
第二南砂中	石 井	2 2 . 5
石神井中*	岡 崎	2 5 . 7
宮上中*	横 山	2 7 . 0

* 印は前年度に続き 2 回目の実施

平成 15 年度 中英研研究部 「語彙サイズテスト」結果 (小数点以下四捨五入)

2 年生 V S T 1 1 テスト 学年平均点

3 年生 V S T 1 1 テスト 学年平均点

学 校 名	指 導 者	学 年 平 均
狛江一中	北原	2 1
希望ヶ丘中	二宮	2 3
文京十中	矢木	2 2

学 校 名	指 導 者	学 年 平 均
狛江一中	北原	2 7
文京十中	矢木	2 8
日野中	大貫	2 4
第二南砂中	石井	2 5
東海中	関口	2 3

日本語の意味を表す英語を(1)～(6)の中から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

.....
1. 小麦粉を焼いた菓子 2. 集まり、会
(1) birthday (2) cookie (3) fork (4) party (5) star (6) sweater
.....

3. 玉ねぎ 4. ぶどう
(1) grape (2) lettuce (3) onion (4) pear (5) rose (6) tree
.....

5. 丸い入れ物 6. クッションのある長椅子
(1) bath (2) lamp (3) phone (4) pot (5) sofa (6) stove
.....

7. 40 8. 100
(1) forty (2) hundred (3) month (4) six (5) twelve (6) year
.....

9. 町 10. 橋
(1) bridge (2) garage (3) place (4) scene (5) square (6) town
.....

11. 食事 12. 1つ、1個、1片
(1) air (2) meal (3) piece (4) sign (5) sound (6) white
.....

13. 男の人 14. 象
(1) change (2) elephant (3) man (4) rabbit (5) wolf (6) woman
.....

* 著作権の関係で著作者（麗澤大学望月正道助教授）のご好意により30題中14題のみ掲載しました。

4 語い指導アンケート集計結果と考察

語い指導項目	指導学校・学年							
	A 2	B 2	C 2	A 3	C 3	D 3	E 3	F 3
1 生徒がすでに持っているカタカナ語の知識を利用している。	3	2	2	3	3	2	3	3
2 既習の同意語や反意語、反義語を同時に指導している。	2	3	2	3	3	2	3	3
3 コロケーションを指導している。	2	1	2	2	3	3	2	3
4 フラッシュカードをフラッシュさせて使っている。	2	3	3	2	3	2	1	2
5 フラッシュカードの最初の1～2文字を見せ素早くその語を言わせている。	3	3	2	3	3	2	1	2
6 早く言える（音読できる）ように指導している。	3	3	1	3	1	3	3	3
7 単語だけでなく句や文の中で変化した音も発音させている。	1	3	2	2	3	3	3	3
8 アクセントをしっかり指導している。生徒も意識して発音している。	3	3	2	3	3	3	3	3
9 文字と発音の関係を指導している。（狭義のフォニックスと 考えていい）	3	3	2	3	2	3	3	3
10 似ている綴りの語から特定の語を素早く探す訓練をしている。 （例 from, fron, frow, flomの中からfromと同じつづりをさがす）	0	0	0	0	0	0	0	0
11 記憶に残るように語根指導（語源にちかい話 breakfast fastをbreakするなど）をしている。	2	3	0	2	0	2	2	2
12 いろいろな文脈で単語を使っている。	1	1	1	2	1	2	1	3
13 ニュアンスの違いを（日本語などを使って）説明している。 例）lookとsee, watch	3	3	2	3	2	3	3	3
14 register*（言語の使用域）を踏まえた指導をしている。 *研究部の過去の研究冊子を参照	1	1	0	2	1	3	3	3
15 新語と母語の既知の概念とを結びつける指導をしている。 （vacationと日本語の休日の概念など）	3	1	1	3	2	2	2	3
16 接辞（接頭辞・接尾辞 re-, un-, pre-, -ation, -ful, -ment）の 指導をしている。	2	3	1	3	1	3	3	3
17 新語の言い換え（recently not long ago）や定義（zebra This animal lives in Africa. It has black and white stripes.） を使って指導している。	0	2	1	1	2	2	3	3
18 1つの単語について6回以上指導している。	0	1	3	1	3	3	1	3
19 絵や実物、ジェスチャーを見せながら指導している。	1	3	2	1	2	2	2	2
20 近い日本語訳を与えている。	3	2	3	3	3	3	3	3
21 辞書指導をしている。	3	1	1	3	1	2	2	2
22 生徒が話したり、書いたりする活動で既習の語いを使うよ うに指導している。	3	3	3	3	2	3	3	3
23 文脈から推測する練習をしている。	0	3	1	2	2	3	0	3
24 単語テストを行っている。	0	3	1	0	0	2	3	0
25 ピンゴをやっている。	3	3	3	3	3	3	0	3
26 ワードサーチやクロスワードパズルを行っている。	0	2	0	0	1	0	3	0
27 しりとりなど単語を使ったゲームをしている。	2	2	1	2	0	1	0	1
28 語いサイズテスト（望月テスト）学年平均点（30点満点）	2 1	2 3	2 2	2 7	2 8	2 4	2 5	2 3

* 以上の項目は次の文献をもとに作成した。

『英語語彙の指導マニュアル』（望月・相澤・投野 2003.10.20. 大修館書店）

指導学校・学年

- A 2・・・狛江一中（北原）2年
- B 2・・・希望ヶ丘中（二宮）2年
- C 2・・・文京十中（矢木）2年
- A 3・・・狛江一中（北原）3年
- C 3・・・文京十中（矢木）3年少人数発展コースのみ
- D 3・・・日野中（大貫）3年
- E 3・・・第二南砂中（石井）3年
- F 3・・・東海中（関口）3年

数字の意味

頻繁に行っている ...	3	強調のために 網掛けしてある
時々行っている ...	2	
あまり行っていない...	1	
全く行っていない ...	0	

考 察

以下の項目は全校で指導されている。

- 1 生徒がすでに持っているカタカナ語の知識を利用している。
- 2 既習の同意語や反意語、反義語を同時に指導している。
- 8 アクセントをしっかりと指導している。生徒も意識して発音している。
- 9 文字と発音の関係を指導している。(狭義のフォニックスと考えていい)
- 13 ニュアンスの違いを(日本語などを使って)説明している。例) look と see, watch
- 20 近い日本語訳を与えている。
- 22 生徒が話したり、書いたりする活動で既習の語いを使うように指導している。

以下の項目は3年生では指導されている。

- 3 コロケーションを指導している。

以下の項目は2年生では指導されているが3年生ではそれほどでもない。学習者が語いを覚えるのは語の形が関係する(相澤他 2003)という研究結果からするともっと使われていい手法であろう。

- 4 フラッシュカードをフラッシュさせて使っている。
- 5 フラッシュカードの最初の1~2文字を見せ素早くその語を言わせている。

以下の項目はあまりやられていないであろうと思ったが、意外にも1校を除いて頻繁に行われていた。

- 6 早く言える(音読できる)ように指導している。

以下の項目はどこでも指導されていない。作成に時間がかかるが、語の綴りの定着を確認するためには妥当であろう。

- 10 似ている綴りの語から特定の語を素早く探す訓練をしている。(例 from, fron, frow, flom の中から from と同じつづりをさがす)

以下の項目はあまりやられていないが、これは教科書本文以外のリーディング指導とも関係しているからであろう。また、Teacher Talk のように spoken による input が含まれているかは不明である。

- 12 いろいろな文脈で単語を使っている。

以下の項目は研究部の過去の研究を踏まえて、3年生で行われている。

- 14 register*(言語の使用域)を踏まえた指導をしている。
*研究部の過去の研究冊子『語いと英語教育(15)(16)』(平成3・4年度)参照

以下の項目は語いが増えてくる3年生でよく使われている。高校での語い習得にとって欠かせない手法である。

- 16 接辞(接頭辞・接尾辞 re-, un-, pre-, -ation, -ful, -ment)の指導をしている。

以下の項目は「6回以上」とは場面を変えて6回を意味しているが、「一度に6回以上発話させている」と誤解していることがあるかもしれない。

- 18 1つの単語について6回以上指導している。

辞書指導をしている学校が少ない。特に1年生から辞書に親しませたい。また、2学年以降もその学年に応じた適切な指導を心掛けたい。

- 21 辞書指導をしている。

以下の項目は指導している学校と全く指導していない学校に分かれた。3年生では使いたい手法であろう。

- 23 文脈から推測する練習をしている。

以下の項目は全校でいずれかを頻繁に行っているという結果が出た。日本の中学生にとってはこのようなゲーム的な語い指導は有効であると言える。

- 25 ピンゴをやっている。
- 26 ワードサーチやクロスワードパズルを行っている。

5 夏休み語り指導 Workshop のまとめ

1 Authenticな読み物から (波線部分は中学生用に表現を改めた。)

関口 智 (品川区立東海中学校)

Barking mad over Chihuahuas

Thursday, August 21, 2003

(CNN) -- A growing craze has been found out and its all thanks to a big-eyed Chihuahua called Que-chan. Dressed in a black suit and tie, Que-chan won hearts and fans when it starred in a television commercial for a credit loan firm 12 months ago. Since then, the cute dog has been the subject of a best selling photo collection, a children's picture book and over 200 other products including a soon to be released CD album.

Cuteness, it seems, has a great charm in Japan. After all, this is the nation that converted a small cat into a global marketing miracle. As well as the Hello Kitty, Pokemon's Pikachu and Tama-chan are other characters that come to mind that have a great popularity. -----以下省略

【教材にするための手順】

(1) どんな読み物を見つけるか

- ・生徒の関心を引くもの
- ・タイムリーなもの
- ・生徒が多少知識があるもの
- ・専門用語が多くないもの

(2) どんな処理をするか

- ・それがなくても意味の流れをこわさない、難しい表現を含む部分は削除する。
- ・難しい単語を易しい単語に置き換える。 thesaurus が役に立つ。手元になければ Merriam-Webster Online (<http://www.m-w.com/thesaurus.htm>)が役に立つ。
- ・難しいと思った語彙が実際いくつの教科書に扱われているかは中英研研究部の「教科書の語いについてのデータ」で調べる。
- ・教科書になくても日常使われる外来語は残す。 accessory, boutique など
- ・どのくらいの割合で難しい単語が入っているかを知りたければ、東京国際大学の F L C [frequency level checker](<http://language.tiu.ac.jp/flc/index.html>)を用いるとよい。英文を入力すると単語をそれぞれ頻度別に 1000 語レベル、2000 語レベル、学術用語レベル、それ以外を Level 1, Level 2, Level 3 ,Outside lists の 4 段階に色別してくれて、それぞれの占有率も表示してくれる。
- ・直した原稿を A L T などに最終的にチェックしてもらう。

(3) C N N の便利な機能

- ・ Story Tools の Save This で記事のスクラップがどんどんできる。

サインアップが必要

【参考文献】

山内 豊(2001)¹『IT時代のマルチメディア英語授業入門 - CD-ROM からインターネットまで』

2 語い指導と文献研究

原田 博子 (江東区立深川第五中学校)

(1) ペアによる Q&A game

- ・語彙指導の原則として以下の Rob Waring の文献を引用した。

We do not learn a word from one meeting. Research tells us that it takes between 5-16 meetings (or more) to 'learn' an average word.

Students learn best by making sense of their own vocabulary and internalizing it. The more they work with the words, and the more deeply they are processed (i.e. by working with the new words in many different ways) the more likely the words will be retained in memory.

- ・語い指導例

ペアによる Q&A game

ペアになり、それぞれがコイン(コイン、おはじきなど目印になるもの)を 10 個ずつ持つ。時間になるまで、相手より先に質問をする。質問をされた方はその質問に答え、相手に自分のおはじきを 1 つ渡す。相手より先に質問をして、たくさんのコインを持っているほうが勝ちとなる。例えば 1 回の時間を 1 分と決め、1 分経ったら、相手を交代させ、別の相手と 1 分間 Q&A を続けさせる。このようにして何度か続ける。

Q&A の相手が変わるので、何回も同じ表現を使うことができると同時に、新しい相手から新しい語や質問のし方を学び、次の相手で使うことができる。ゲーム性があるので、楽しみながら繰り返し語を使うことができる。相手への質問の内容は、教師側で決めても(Yes-No questions を使わせる, Wh-questions を使わせるなど), 決めなくてもよい。

(2) 夏のワークショップ文献研究

Teaching & Learning Vocabulary (Nation, 1990) Chapter 3 まとめ

この章は、どんなことが語いの学習に関わるかを中心にまとめられている。その語を知っているというときにどこまで知っているのかによって、receptive knowledge (その語がどんな文法パターンに出てくるかがわかること) と productive knowledge (receptive knowledge を含み、その語の発音のし方、書き方、コロケーションも考えて、正しい文法パターンの中でどのようにその語を使うかを知っていることを含む) に区別される。また、どんな点が語い学習を難しくしているかについては、学習者の英語へのこれまでの経験や母語との関係、語が習得される方法、語の持つ固有の難しさ、の 3 つを挙げている。さらに語いの学習負担に影響を与えるものとして指導のし方についてふれている。その一つに、cross-association がある。たとえば両方とも長さを表す意味概念を持つ long と short を同時に提示して教えるときに、同じような絵や物を使って提示すると、意味を取り違えて覚えてしまう学習者がでてくるということである。Right や left も同様なことが起こる場合がある。このようなことを避けるために、別々に学習させた方が学習者にとって学びやすくなる。指導法を誤ってしまうことによって、学習者に必要以上の学習負担を強いることになることもある。

3 教科書の語句の定着～空所補充プリントの工夫

溪内 明(大田区立東調布中学校)

(1)目的

教科書本文の単語(語句)の意味やスペリングを定着させる。

文の意味や文脈を踏まえて単語(語句)の意味をとらえる習慣を身につける。

(2)方法

空所補充のハンドアウトを配布するのは、次のタイミングが考えられる。

- 教科書の内容理解が終わり、音読を終えた後。
- オーラル・イントロダクションの直後。
- 前時の内容を復習するとき。

空所にする語は次のようなものが考えられる。

- ある特定の品詞のみ(名詞のみ 動詞のみ...)
- 名詞、動詞、形容詞等の内容語
- 前置詞等の機能語
- 数語おきにほぼ規則的に空所を作る。
- 誤って書かれている単語を訂正させる。 資料 A

本文の内容、難易度、生徒の学習の様子によって次のようなヒントを与える。

- 空所に入る単語をあらかじめ示しておき、その中から選択させる。 資料 B
- 空所になる単語の最初の1～2文字を示す。 資料 C
- 空所になる単語の文字数を示しておく。 例：r m (rhythm)
- 本文のストーリーの導入を日本語で示す。

例：スティービー・ワンダーはどのような少年時代を過ごしたのでしょうか。

(資料 A) He used chopsticks to keep rhythm with the music. He became very good at
(spoons)
playing the drums, the guitar, and so on. People who listened to his music
(piano)
were sad.
(amazed)

(資料 B) Stevie Wonder is an African-American _____ who is known to everyone.
(musician)
But he is more _____ just a musician.
(than)
Stevie was born in 1950. He soon _____ his eyesight.
(lost)

lost	music	musician	piano	radio	than
------	-------	----------	-------	-------	------

(資料 C) Stevie Wonder is an African-American m_____ who is known to everyone.
(musician)
But he is more than just a musician.
Stevie was born in 1950. He soon lost his e_____ .
(eyesight)

()内イタリック体の語句は正答

4 Word Relay Game (英単語連想ゲーム)

山本 崇雄 (大田区立御園中学校)

「バナナ」と言ったら「黄色」、「黄色」と言ったら「月」、「月」と言ったら・・・これを英語でやるのがこのゲームです。Writing に結びつけることも、Speaking に結びつけることもできます。

(1) Word Relay Game (Writing Version)

<準備> 以下のようなシートを用意します。

<p>Word Relay Game Start (Your name) () () () ()</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>
--

<手順>

生徒にシートの Your name の欄に自分の名前を書かせる。

教師はスタートになる英単語を黒板に書き、生徒はそれを最初の に書き入れる。ここでは例として yellow をスタートの英単語とする。

生徒は、教師が ‘ Switch papers ’ というのを合図に近くの生徒とシートを交換する。生徒は () の中に自分の名前を加え、yellow から連想する英単語を の先を書く。yellow なので、例えば banana や moon などが考えられるだろう。この際、段階に応じて、辞書を使わせても良い。

教師は時間を区切って、(予め 20 秒など決めないと区切りがつきません) ‘ Switch papers ’ の声をかけ、シートを交換させる。

 この手順を繰り返し、5 ~ 10 分程度で終了させる。

(2) Word Relay Game (Speaking Version)

Writing Version を口頭でやる。

Teacher	Student
When you hear ‘ yellow ’ , what do you think of? 数秒おいて One, Two! 大きな声で言えた生徒を指名し What did you say? OK. The bingo word is ‘ banana ’ ! Who said ‘ banana ’ ?	‘ Banana ’ ‘ Moon ’ 各々の思いついた単語を言う。 Banana.

ビンゴワード* を言えた生徒に得点が入り、得点を競う。

*生徒が連想した単語を言った時に、「早く言えた生徒」「大きな声で言えた生徒」「出席番号 番の生徒」など教師が任意に指名し、その生徒の言った単語がビンゴワードとなる。

例) T: Tnaka-kun, you can say it very fast. What did you say?

 S: 'Banana'

 T: OK. 'Banana' is a bingo word!

5 夏のワークショップの内容と参加者の声

第1回 7月24日(木) 参加人数 35名

場所 大田区立御園中学校

内容 午前 エクセルを使った語いリストのソート演習

午後 語い指導ワークショップ 担当 山本崇雄 北原延晃

第2回 8月25日(月) 参加人数 34名

場所 江東区立第二南砂町中学校

内容 午前 語い指導ワークショップ 担当 関口 智 原田博子 溪内 明

午後 エクセルを使った語いリストのソート演習

第3回 8月26日(火) 参加人数 19名

場所 大田区立東調布中学校

内容 午前 語い指導文献研究 (Nation の "Teaching and Learning Vocabulary" の購読)

担当 鶴田峰子 原田博子 大貫由季

午後 語い指導ワークショップ 担当 山本崇雄 溪内 明 岡崎伸一

< 参加者の声 >

- ・先生方の研究、このワークショップの準備・運営に関心するばかりです。さまざまなアイデアを得ることができ、早速2学期から実践していきたいと思います。エクセルもダウンロードさせていただきました。うまく活用して行けたらと思っています。
- ・第2回の語い指導のワークショップでは参考になることが多かったです。「エクセルによる語いリスト」のおかげで、3年生の重要語いリストが作れました。これからの指導に活かしていきたいと思います。
- ・第3回は、実は大学院でも文献研究をしているので、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・エクセルの語いリストはとても役立ちそうなソフトでありがたいです。(こんなのあればいいなあと考えていました。)
- ・文献研究の発表は、日頃専門書を読む機会も少ないので、勉強になりました。ワークショップは色々ヒントをいただけて授業に役立てたいと思います。
- ・とても参考になりました。特にワークショップ形式でも発表は生徒の立場で体験でき、楽しむと同時に、実際に活かすことができると感じました。また文献研究は、自分では原書を読んでいくような研修はとてもできないので良い勉強になりました。ありがとうございました。
- ・学校以外の場で色々な先生方から学べるよい機会なので、ぜひ来年も開催して下さい。

6 研究部のホームページについて

研究部のホームページでは、昨年度より、語いデータをダウンロードできるようになっています。平成 15 年 12 月 19 日現在、延べ 3 6 5 名の方がデータをダウンロードしています。多くの方にデータを活用して頂き、実践を共有し、高めていくこともこの研究のねらいの一つでもあります。さらに多くの方にデータを活用して頂きたく、ダウンロードの方法をお知らせします。

< 研究部「語いデータ」ダウンロードの方法 >

研究部のホームページにアクセスして下さい。

研究部ホームページ URL <http://www.eigo.org/kenkyu>

トップページから「教科書使用語いの分析データと研究への参加方法は、こちらです」をクリックし、手順に沿って登録をして下さい。登録内容は、「学校又は所属」・「お名前」・「e-mail アドレス」です。これはデータの権利保護上の措置で、他の目的で使われることはありません。

登録が行われると、研究部ホームページ管理者よりダウンロードページのアドレスとパスワードが登録されたメールアドレスに送られてきます。このパスワードを使ってダウンロードページに進んで頂き、データをダウンロードして下さい。パスワードのお知らせメールは、管理者が 1 つ 1 つ確認しながら手動で送っていますので、返送に時間がかかる場合があります。できるだけ迅速に対応したいと思っておりますが、予めご了承下さい。なお、2 ~ 3 日を経過しても返信がない場合は、登録ができていない可能性もありますので、お手数ですがもう一度上記の手順で登録をし直して下さい。

< データの形式 >

Microsoft Excel 形式（表計算ソフト）約 1.1MB

(Microsoft Excel 2000 で作成してあります。Lotus 123 でも読み込めます)

テキストデータ（カンマ区切りのデータです）約 300KB

Excel 以外の表計算ソフトやワープロソフトで読み込むことができます。書式も自由に設定できます。

以上の 2 種類はデータそのものは同じですので使いやすい方をお選び下さい。

< お願い >

ここでご案内している語いのデータは、中英研研究部がすべて文書により、教科書出版社からの許諾を得ているものです。その許諾は「研究目的」に限られています。その点を十分に理解して頂き、パスワードの管理については、利用者の責任でお願い致します。

また、このデータを使っての実践例や、改善点、ご意見等ございましたらぜひお知らせ下さい。

e-mail アドレス goi@eigo.org

今後の課題

昨年度の課題として、(ア)語いリストの改善 (イ)コンコ・ダンス (ウ)語いリストを利用した指導の開発 (エ) Student Talk との比較 (オ)語いリストの考察の継続 (カ)他のコーパスとの比較 の6項目を取り上げた。その中で本年度は、(ア)語いリストの改善では、リストの整理と点検・修正を行い新項目を追加した。(ウ)語いリストを利用した指導の開発では、指導法の実践報告・意見交換を行い、語い指導のアイデアをワークショップで紹介した。また、「語いサイズ測定テスト」や「語い指導の方法についての調査」を実施し、効果のある語い指導の方法について検討した。(オ)語いリストの考察については、アメリカや日本の小学生が初めて使用する児童用辞書の項目を追加することにより、初級学習者が必要とする語がより鮮明になってきた。

本年度は研究部の初めての試みとして、夏休み中に英語教師対象のワークショップを実施した。本研究がより多くの英語教師の共有財産として活用されることを願い、語いリストのダウンロードの仕方や授業での活用方法などについて紹介した。同時に、語い指導に関する文献のレポートを行うなど、語い指導に関心のある教師へ参加を呼びかけ共に研修した。

今後の課題として下記の項目が考えられる。

ア 語いリストの改善

- ・ カテゴリーを再検討し、より使いやすいデータとするために追加、修正を行う。
- ・ 新項目の追加：本研究部の過去の研究データの追加、M. West の General Service List など他の語いリストとの比較、分析をする。

イ コンコ・ダンスの作成：どの語と一緒に使われているか検討する。

ウ 語いリストを利用した指導の開発と実践：授業実践を通して、語い習得のための指導法を継続研究する。

エ 本年度実施した「語い指導についての調査票」を参考に、語い指導の方法について再検討する。

オ Student Talk との比較

カ 他のコーパスとの比較：現在使用している教科書の語いだけで十分か検討する。

キ 語いについての文献研究

ク 語いリスト活用の推進：ワークショップを通して、語いリストを紹介し、語い指導の方法についての研修を継続する。

ケ 単語テストの是非、綴りをどの語まで要求するか等に関する研究

今後もよりよい授業実践を目指して、継続して研究をすすめていきたいと考えている。

参考文献

- The Oxford Picture Dictionary (Teachers' Book) J. Adelson-Goldstein 1998 O.U.P.
The Longman Picture Dictionary American (British) English J. Ashworth 1997 Longman
Assessing Vocabulary John Read 2000 C.U.P.
Implementing The Lexical Approach ... Putting Theory into Practice ...
Michael Lewis 1997 Language Teaching Publications
Vocabulary M. McCarthy 1996 O.U.P.
English Vocabulary in Use ... Elementary M. McCarthy 1999 C.U.P.
Vocabulary Morgan & Rinvulcri 1995 O.U.P.
Teaching & Learning Vocabulary Nation 1990 Heinle & Heinle
Vocabulary in Language Teaching Norbert Schmitt 2000 C.U.P.
Test Your Vocabulary 1 Peter Watcyn-Jones 2002 Penguin English Guide
Working with Words Ruth Gains & Stuart Redman 1995 C.U.P.
英語語彙習得論 投野 由紀夫 1997 河源社
英語語彙の指導マニュアル 望月 正道・相沢 一美・投野 由紀夫 2003 大修館書店
英語力はどのように伸びていくかー中学生の英語習得過程を追う
太田 洋・金谷 憲・小菅 敦子・日臺 滋之 2003 大修館書店
- Macmillan First Dictionary Judith S. Levey 1990 Macmillan
Kingfisher First Dictionary editors 1995 Kingfisher
The American Heritage First Dictionary editors 2003 Houghton Mifflin
The McGraw-Hill Children's Thesaurus McGraw-Hill 2003 McGraw-Hill Children's Publishing
Scholastic First Dictionary Judith S. Levey 1998 Scholastic Reference
アルク 2000 語絵じてん 久埜百合 2000 アルク
英和じてん絵本 アン・ヘリング 1999 戸田デザイン研究室
- COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE (1 ~ 3) 2001 光村図書出版(株)
NEW CROWN ENGLISH SERIES (1 ~ 3) 2001 (株)三省堂
NEW HORIZON English Course (1 ~ 3) 2001 東京書籍(株)
ONE WORLD English Course New Edition (1 ~ 3) 2001 教育出版(株)
SUNSHINE ENGLISH COURSE (1 ~ 3) 2001 開隆堂出版(株)
TOTAL active.comm ENGLISH FOR ACTIVE LEARNERS (1 ~ 3) 2001 秀文館(株)
TOTAL ENGLISH ENGLISH COURSE (1 ~ 3) 2001 学校図書(株)

編集後記

本年度も、都中英研・研究部は昨年度の課題をきちんとふまえながら部員一同力を合わせて”語いの研究”に取り組んできました。長い長い歴史を積み重ねております。

これだけ続けておりますと、”語いの研究”には”愛着”と”執念”のようなものさえわいてきます。それだけ幅広く、奥行きのある研究対象であることを痛感いたします。

もちろん私たちは、”語いの研究ばかりをやっているわけではありません。お互いの授業研究もやっております。そして、やはり何と言っても研究の中心に”授業”そのものを見据えていないと、良い研究結果につながらないと、戒めてもおります。

私たち研究部員の強みは、常に現場にあって、いつも生徒たちへ英語を教え、そして時には生徒たちに教えられている背景があります。だから研究のテーマは同じであっても、常に新鮮な気持ちで取り組んでいけるのではないかと考えています。

今年度の研究部の大きな成果の一つに、私たちの毎月1回の定例会に加えて、東京都の英語の全先生方を対象に、夏季休業中に3回(複数日)サマワークショップを開催いたしました。多くの先生方に参加していただき、私たちの研究が”象牙の塔”のようなものでなく、多くの先生方のご意見を反映しながら企画し、皆様と共に勉強を続けていきたいと考えています。

なお財政上の事情もあり、本年度より研究冊子の全校送付を中止させていただきます。本年度の冊子内容及びこれまでの研究内容については、研究部ホームページをご覧ください。

<http://www.eigo.org/kenkyu>

最後になりましたが、私たちの研究を進めるにあたって、東京都中学校英語教育研究会の太郎良博会長、大学の先生をはじめ、多くの方々のご協力とご指導がありました。とりわけ語いリストの改訂にあたっては、東京都町田市立町田第三中学校校長本多仁禮士先生、京都府立洛星中学校高田三夫先生に多大なるご援助をいただきました。心から感謝申し上げます。これからも多くの皆様のご理解とご支援をいただき、更なる挑戦をめざして頑張りたいと思います。

2004年2月24日 備里川 正人(研究部長)

今年度の研究に携わった研究部員(東京都中学校英語教育研究会研究部)

備里川 正人(足立区立西新井中学校)	北原 延晃(狛江市立狛江第一中学校)
石井 亨(江東区立第二南砂中学校)	鶴田 峰子(中央区立日本橋中学校)
野口 弘子(都立南大沢学園養護学校)	鬼山由美子(足立区立第九中学校)
二宮 正男(世田谷区立希望丘中学校)	原田 博子(江東区立深川第五中学校)
関口 智(品川区立東海中学校)	横山 牧子(八王子市宮上中学校)
福井 洋子(稲城市立第三中学校)	坂田 恵子(練馬区立石神井中学校)
溪内 明(大田区立東調布中学校)	山本 崇雄(大田区立御園中学校)
稲葉 高広(世田谷区立尾山台中学校)	丸山 篤広(大田区立羽田中学校)
大貫 由季(品川区立日野中学校)	北条 美苗(江戸川区立松江第二中学校)
岡崎 伸一(渋谷区立代々木中学校)	矢木美記子(文京区立第十中学校)